

## 第35回日本老年医学会総会参加報告

医療法人社団正啓会成和病院

内科(老年病科) 長谷田 祐 作

### はじめに

日本老年医学会総会は回を重ねるとこと30有余, 本年は第35回を迎えたが場所を北海道に選び札幌市中央区北1条西12丁目北海道厚生年金会館を会場として9月22日(水), 23日(木, 祝祭日), 24日(金)の3日間にわたって開催された(第1図参照)。

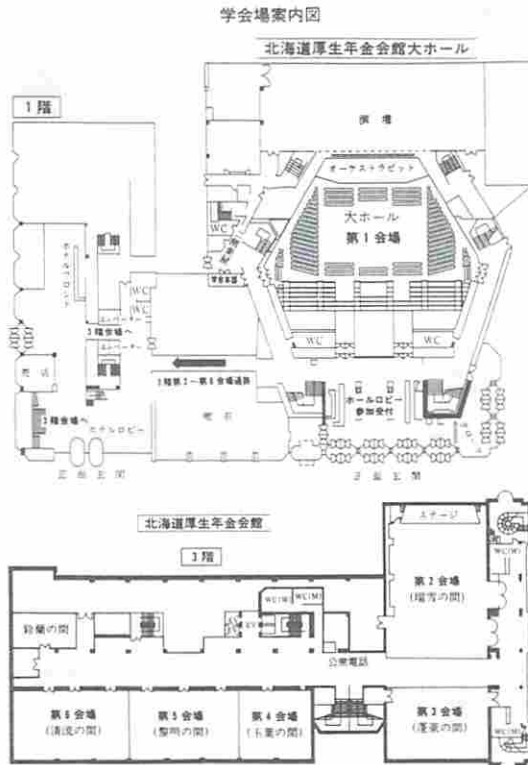
昨年は金沢市で11月下旬3日間にわたり開催されたが今年も参加する機会を得たのでそ

の概況を報告し会員諸兄の御参考に供したいと思う。

### 日程と座長など

日程と座長及び演題のテーマについては第1表(①~③)に示す通りである。私は主として第1会場において聴講したが第1日(22日)は乗り物(飛行機便, バス)の都合でシンポジウムの後半一部に辛うじて間に合った程度なので初日の状況については遠慮させて

第1図



第1表①

日程表および座長一覧表  
9月22日(第1日)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	第6会場
9:00	大ホール 開会の辞	開会の辞	演題の開	主催の開	審判の開	講演の開
9:10	虚血性心疾患 (1~20) 高野 邦夫 竹越 新 宮下 英夫 中村 芳郎	編纂I (21~35) 渡辺 亮 平井 俊策 今井 幸史	演化器 (36~48) 新津洋司郎 村上 元博 横山 山崎	骨・運動器 (55~69) 根野 一年 大畑 徹博 林 幸史	脳血管障害I (75~96) 上田 一雄 松本 昌孝 藤 勉郎 山田 武典	腫瘍代謝 (97~110) 齊藤 肇 内藤 隆中 長谷川元治
	(12:10)	(11:25)	(12:01)	(12:10)	(12:28)	(12:01)
12:25		(12:30) 評議員会		昼		貴
13:30						
14:00	日本老年医学会 総会					
14:30	日本老年医学会 会長講演 (可会・無料開演)					
14:30	日本老年医学会 特別講演I 老人の臨床検査 の正常値 石会 周 忠 伊達 肇					
16:00	日本老年医学会 シンポジウムI 高齢者の 外科治療 明会 共演第一 会場の観					
18:20						

頂きたいと思う。

第2日の第1会場は循環器Iをテーマとした演題番号116番から135番までの研究発表が行われた。その内容は拡張期心筋症(2題)心不全(2題)大動脈弁病変(2題、この中の1題は金沢医大病院の中央臨床検査部と循環器内科との共同研究によるものである)心房中隔欠損症と加齢(2題)血流に関するもの(4題)心電図及び脈拍異常に関するもの(8題)であった。

さて本年は第35回日本老年医学会の開催と同時に日本老年学会(第18回)、日本老年社会学会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会も同時開催の運びとなって居り、本日午後は第1表②に見られる如く日本老年学会の総会、会長講演、シンポジウムが行われた。

会長(旭川医科大・第3内科並木教授)講演の演題は「老年者とストレス」であり35年間にわたる研究調査の成果について述べられ

たが特に印象に残ったのは平安後期の名著「大鏡」に見られる「物言わぬは腹ふくるるわがなり」はストレス病であり古代既にこの種疾患が見られたことを医学的見地から見事に立証されたことに深い感銘を覚えた次第である。

第3日午前の第1会場は前日と同様循環器(II)のテーマの下、運動と心機能に関する発表(231~236)、その他(237~241)で(242~246)はテーマが改まり透析に関するものとなり247番は多発性骨髄腫における腎障害に関するものであったことは第1表③に見られる通りである。上記の中、234番及び236番はともに金沢医大・老年病科より発表されたもので心エコー図法を用いて検討されたものであったが同様な方法で検討される研究者も居られると見え活発な質問、討論が行なわれ興味があかれた。

続いて248番は Dynamic MRI による前

第1表②

9月23日(第2日)

	第1会場 大ホール	第2会場 聴堂の間	第3会場 遠望の間	第4会場 玉葉の間	第5会場 黎明の間	第6会場 清波の間
9:00	循環器I (116~135) 北島 肇 柴田 宜彦 木川田隆一 関 肇	臨床II (136~150) 西村 健 松下 正樹 金澤 一郎	動脈硬化 (151~171) 大内 彰義 北 肇 中谷 邦章 豊岡 照彦	血液 (172~190) 大野 孝英 白倉 卓夫 島田 馨 森 真由美	脳血管障害II (191~195) 山之内 博 病 学 (196~209) 田中 幸三 松崎 俊久 栗田 博	高血圧 (210~230) 島田 和幸 藤田 敏郎 遠藤 信彦 西原 一郎
12:09	(12:00)	(11:15)	(12:09)	(11:51)	(11:51)	(12:09)
13:00	昼 食					
13:30	日本老年学会 総 会					
13:30	日本老年学会 会長講演 (司会:五島隆一郎)					
14:30	日本老年学会 シンポジウム 老年学研究の 動向と今後 (司会:並木正樹)					
17:30						

第1表③

9月24日(第3日)

	第1会場 大ホール	第2会場 聴堂の間	第3会場 遠望の間	第4会場 玉葉の間	第5会場 黎明の間	第6会場 清波の間
9:00	循環器II (231~241) 菊池健次郎 日和田邦男	臨床III (242~256) 大原健士郎 本間 昭 新島 彰	神 経 (274~297) 秋口 一郎 藤原 茂樹 中村 重信 森松 光紀 永根 博	健康管理 (298~308) 井上 剛輔 松下 豊	呼吸器 (319~337) 福地真之助 藤田 天幸 森沢 光 木田 厚雄	糖尿病 (341~365) 菊田 文夫 藤谷 佳和 赤石 宏夫 高杉 祐一
12:36	(12:09)	(12:18)	(12:36)	(12:09)	(12:36)	(12:22)
13:30	昼 食					
14:20	日本老年医学会 特別講演II 日本人のルー- プ 矯正 和郎 (司会:藤原茂樹)  日本老年医学 シンポジウムII 老年看護学 患者の特性と対応 (司会:小島利基 並木文男)					
17:00	閉会の辞					
17:30	教育講演 1. 萩原 俊男 (司会:並木 肇) 2. 佐々木英彦 (司会:本村敏郎) 3. 藤島 正敏 (司会:並木肇夫) 4. 齊藤 勇一 (司会:藤原茂樹)					
19:30	教育講演 5. 藤島 昌平 (司会:藤原由夫) 6. 森井 浩世 (司会:藤田和男) 7. 藤澤 信夫 (司会:島山正昭) 8. 谷川 久一 (司会:谷川 剛)					

※お知らせ  
今回の教育講演への参加は、日本老年医学会認定医更新のため5単位(講者は更に2単位加算)となります。  
教育講演の参加受付は、9月24日16:30より、第1会場および第2会場入口で行います。

立腺癌病期診断とテーマは「性の生殖器」に移ることとなったが249番は高齢者前立腺バルーンダイレーションの経験、250番は老人病院における高齢者の排尿障害の実態について、251番は中・高齢婦人の腹膜・性器結核など興味深々の内容のものであった。

午後は日本老年医学会特別講演。「日本人のルーツ」と題する東京大学国際日本文化センター名誉教授の名誉教授の講演、その後「高齢者循環器疾患の特性と対策」をテーマに、小沢利夫東京都老人医療センター院長、葛谷文男名古屋大学名誉教授両氏司会の下にシンポジウム（II）が行われることになって居り閉会、その後なお教育講演が第1・第2

会場において実施の運びになっていたが私は都合により午後の行事には参加出来なかった。

本日（最終日）は雨が降ったり止んだり、風も強く外出にはやや難渋を覚える程であったが各会場では追加討論などかなり活発に行なわれていた模様であり心強い印象を受けたことを附記する次第である。

## おわりに

北海道での学会参加は久しぶりであったが、この機会を与えて戴いた医療法人社団正啓会理事長小西啓子氏、同じく成和病院長小西秀男氏に深甚なる謝意を表すものである。

（終）